

会報 第14号 2011年7月



赤煉瓦倶楽部半田会報
発行人:長谷川寛子会長
会報第14号編集担当:山口貴司
〒475-0928 半田市桐ヶ丘3-11-13
(建築工房創風庵)
TEL/FAX:0569-21-5959
http://www.akarenga-handa.jp
E-mail:redbrickhanda@yahoo.co.jp

NEWS 01

東日本大震災チャリティ公開

5月3日、4日は毎年特別公開を行っているのですが、今年度は3月11日に東日本大震災が発生したため、急遽特別公開を8月に延期し、5月は被災された皆さんの一日も早い復興を願い、チャリティーイベントとして赤レンガ建物の一般公開を行いました。今回は、建物の公開、複製カプトビールの販売に加え、復興支援のため義援金募金、日本福祉大学の有志によるフリーマーケットを行い、募金に加え、「カプトビール」の収益(1本につき50円)及び製造業者から寄付(1本につき50円)、フリーマーケットの売り上げ等の合計95万8,933円を日本赤十字社に寄附させていただきました。

さて、5月といえども外の気温は高く、ハイキングコースで汗をかいた体のほてりが一瞬にしてリフレッシュできるのが赤レンガ建物の特徴でもあります。そして、何といってもお目当ては公開時ここでしか手に入らないカプトビールです。

まだ、カプトビールについてご存知ない方のために少しご紹介をさせていただきます。

1900年のパリ万国博覧会で『カプトビール』が金牌賞を受賞しました。当時の審査報告書には「ビールは我が国からは、わずかにアサヒビール、エビスビールそしてカプトビールの3種だけであったが、他の各国からは多数の出品があつてその品評には最も熟練した審査官一同が全力を尽くした。特に金賞、銀賞については各々所見を主張して決定したものであるが、我が国から出品した3種についてはドイツの製品に比べるとやや及ばないところがあるものの、その他の各国の製品に対しては遜色なく、3種の内アサヒ



NEWS INDEX

- 東日本大震災チャリティ公開
- よみがえれ明治の扉
～特別公開10周年記念～
間もなく開催!
- 2011年新春合宿
- 蔵のまち 雑まつり
- NHK「金とく」収録秘話
- 寄付金、カプトビール基金残高

ビールとカプトビールは同点で、エビスビールは若干低い点数であったがいずれも金牌賞の評決となった・・・」と記されています。

明治時代のビールは、腐敗を防止するために麦汁糖度を高くし、アルコール度数を現在のビールの約1.5倍の7%と高くなりました。また、木製の樽に0℃で3ヶ月間熟成させましたが、木樽のため炭酸が抜けてしまい、現在のビールよりも3割ほど少なくなりました。単純に炭酸が3割低い(次ページへ→)



日本福祉大学の有志によるフリーマーケット



被災地の写真公開

と気の抜けたビールですが、それを補うためにホップを多く入れ、それに麦汁の甘さが相まって、一言で言うとワインのような深い味わいのビールとなりました。

日にかざすと赤褐色をしているため、当時は赤ビールと言われました。ぜひ、赤レンガ建物にお越し頂き、超限定カプトビールを飲んでみてください。復刻『カプトビール』

□□

■ NEWS 02

2011年新春合宿

1月23日、成岩公民館において恒例の新春合宿が始められました。合宿会場は窓側の背もたれができるいい場所から埋まっていきます。

まず、馬場理事長より、前年の倶楽部収支報告と全国大会報告、今後の特別公開のテーマを何にするか議論しました。

次に、永田副理事長より赤レンガ建物のハーフティンバ一部分の上げ下げ式の窓を7月に復元する計画が発表され、室内が明るくなり、いよいよ待ちに待った本格活用の第一歩になることが現実的になってきました。我々赤煉瓦倶楽部の思いは、建物の本格活用をめざしており、建物内のほこり清掃と、内部不要物の撤去と備品の整理、雨漏り対策などまだまだやることが山積していますが、ひとつづつ「変えて行こう」とおもっております。

懇親会では、新規会員さんの参加もあり、美しい女性会員の紹介があり、がぜんやる気が出てきました（〇〇さん笑！！）2011年は、女性会員大募集！！おじさんよりも女性に参加できる場を多くしていきたいですね。

今後倶楽部員の思いを実現するため、楽しくなる企画作りを行なって行きたいと思っています。ご意見等ございましたら、どしどし事務局までお知らせくださいますようお願い申し上げます。（小林記）



は、明治時代のカプトビールを忠実に復刻した本格ドイツビールです。炭酸ガスは現在のビールに比べて3割以上も少なく、色は黒ではなく赤褐色に仕上げ、アルコール度は7～8度とやや高めです。是非、赤レンガ建物にお越しいただき一度味わってみてください。（榎原記）

■ NEWS 03

蔵のまち雑まつり

今年も2月26日（土）、27日（日）に、半田市の蔵のまち雑まつりと連動して、赤レンガ建物の公開を行いました。

毎回好評の、平岡ステンドグラス工房、青山ガラス工房の皆さんの、ガラスのお雛様の展示、そして、乙川人形の土雛の展示ですが、今年は各部屋に独立させて出展された方々に演出までやって頂いたところ、例年とは一味違う見ごたえのある空間が出来上がり、建物の可能性の一端を見た思いがしました。いつも、会場に見えたお客様が、嬉しそうに作品をみてくださる事に喜びを感じました。

喫茶コーナーでは、中埜酒造様から焼き芋味の甘酒を、酢の里様からは、黒酢のドリンクを提供して頂き、いつも心から感謝致します。黒酢のドリンクと甘酒も、赤レンガの名物として定着しつつあります。

ご来場して下さるお客様に、一つでも、楽しい思い出を作って頂き、赤煉瓦建物の素晴らしさを理解して頂ける様に、これからも頑張ってお参ります。（新海記）



■ NEWS 04

よみがえれ明治の扉

～特別公開 10 周年記念～

間もなく開催！

【8月20日(土)21日(日)10時から16時まで】

赤レンガ建物が一般に公開された2002年の第1回特別公開から今年で10周年を迎えることとなります。これまでの来場者は15万人を超え、多くの皆様にご好評ご来場いただいております。毎年倶楽部員としても赤レンガ建物の魅力や歴史を創り上げてきた人物、品物など、毎年いろいろなテーマで発信し皆様にお届けできる特別な公開日となっております。

そこで、今年10周年を迎えるにあたり「記念特別事業」としてハーフティンバー東側部分の「扉」と、今では珍しくなったバランス錘(おもり)付木製上下開閉「窓」を創建当時に近い形で復元しました。自然採光が建物内にさしこみ、いつもと趣きの違う建物内部をご覧ください。

例年とは違う開催日程ですが、もちろん暑さを吹っ飛ばす「生カブトビールフェスタ」も同時開催いたします。

明治28年勲業博覧会で好評を博した赤前掛・赤たすき姿も必見ですよ～冷え冷えのサーバーによる本格ドイツ生カブトビールが「たまらな～い～」是非ご賞味あれ……。

その他、半田赤レンガ建物特別公開10年の軌跡を写真や年表で紹介するコーナーや特製のTシャツ、ピンバッジや陶器製のコップなどのカブトビールグッズ販売、本格ドイツパンの販売など盛り沢山の内容で皆様をお待ちしております。

歴史コーナーでは、歴史を辿る貴重な当時の写真、お宝を公開します。もっと詳しく知りたい方々には、「赤レンガナビゲート」の半田市観光ガイド協会のボランティアガイドに耳をかたむけてください。タイムスリップした時代を思い浮かべることも出来ますよ～

特別公開に向けて倶楽部員一同、皆様にお会いできることを心待ちにして着々と準備をしております。～皆さん～



是非10周年アニバーサリー特別公開へ足を運んでくださいね。(昨年のカブトビールフェスタ)

■ NEWS 05

ハーフティンバー部分の窓復元

長年の思いがやっと実現する事となりました。ハーフティンバー部分の窓と扉の復元のことです。

幸い、昔の上げ下げ窓が2階部分に残っていたので、それをできるだけ忠実に再現図を書いてみました。しかしながら、本体部分の柱や梁が傾いていたりして、いずれ施工される本格工事にきちんと収まるようにするため、色々考えなくてはならず、苦勞することとなりました。又、文化財を復元するという事で、建具屋さんにも大変なプレッシャーをかけることとなりましたが、何とか方向が見えてきました。名古屋大学名誉教授の飯田先生にも現場でアドバイスをいただきながら、何とか8月の特別公開に間に合うように工事は進んでいます。(永田記)



改修前



改修中 (どのように復元されたか必見です！)



赤だすき 赤前掛

